

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年8月12日
【四半期会計期間】	第70期第1四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）
【会社名】	リバーエレクトック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	(0551)22-1211(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【最寄りの連絡場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	(0551)22-1211(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第1四半期連結 累計期間	第70期 第1四半期連結 累計期間	第69期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成26年4月1日 至平成26年6月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (千円)	1,499,469	953,404	5,734,495
経常利益又は経常損失() (千円)	94,230	261,701	177,743
四半期純利益又は四半期(当期)純 損失() (千円)	91,719	242,706	236,710
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	175,980	290,346	41,914
純資産額 (千円)	3,293,367	2,770,322	3,068,039
総資産額 (千円)	8,665,185	7,205,967	7,694,590
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失金 額() (円)	12.44	32.93	32.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	38.0	38.4	39.9
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	445,300	392,955	425,434
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	114,684	49,795	126,198
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	529,603	119,468	868,611
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	766,304	760,497	448,986

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第69期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

4. 第70期第1四半期連結累計期間及び第69期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

5. 四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税引き上げによる反動が見られたものの、企業収益は改善傾向にあり、雇用情勢も好転するなど緩やかな景気回復基調で推移しました。

海外においては、米国経済が順調な景気回復を続けるなか、中国等の新興国経済においても減速感を抱えつつも一定の成長を維持しておりますが、ウクライナ情勢等の地政学的リスクの懸念もあり、先行き不透明感は払拭できない状況にあります。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は、昨年度末から続く水晶製品の受注低迷が影響し、前年同期比36.4%減の953,404千円となりました。

利益面ではコスト削減に努めたものの、大幅減収による減益効果が大きく、242,338千円の営業損失となりました（前年同期は28,798千円の営業利益）。経常損失は前年同期に為替差益などの営業外収益を計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間では為替差損などを計上したことにより261,701千円（前年同期は94,230千円の経常利益）となりました。四半期純損失は投資有価証券売却益などの特別利益を計上しましたが、242,706千円（前年同期は91,719千円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（水晶製品事業）

	前第1四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	前年同期比
売上高	1,478,664千円	941,305千円	36.3%
経常利益又は損失（ ）	90,494千円	262,155千円	-

水晶製品の売上高は車載向けは受注が好調で前年を上回ったものの、スマートフォン向けの大幅受注減により販売が低迷し、941,305千円（前年同期比36.3%減）となりました。利益面では、原価低減に努めたものの、スマートフォン向けの販売低迷が大きく響き、262,155千円の経常損失（前年同期は90,494千円の経常利益）となりました。

（その他の電子部品事業）

	前第1四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	前年同期比
売上高	20,804千円	12,098千円	41.8%
経常利益	3,735千円	453千円	87.9%

その他の電子部品の売上高は12,098千円（前年同期比41.8%減）となりました。抵抗器の事業縮小に伴い、販売数量が減少したことにより減収となりました。経常利益は固定費の削減等による原価低減に努めましたが、減収による減益の影響を補え切れず、453千円（前年同期比87.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の増加329,001千円、受取手形及び売掛金の減少330,185千円、商品及び製品の減少52,429千円、機械装置及び運搬具の減少158,776千円、投資有価証券84,125千円の減少等により、前連結会計年度末から488,623千円減少し、7,205,967千円となりました。負債合計は支払手形及び買掛金の減少53,851千円、短期借入金の減少26,440千円、長期借入金の減少69,426千円、長期未払金18,132千円の減少等により、前連結会計年度末から190,905千円減少し、4,435,645千円となりました。純資産合計は、利益剰余金の減少250,077千円、為替換算調整勘定34,711千円の減少等により、前連結会計年度末から297,717千円減少し、2,770,322千円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ311,510千円増加し、760,497千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は392,955千円（前年同期は445,300千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失240,305千円、減価償却費151,019千円、売上債権の減少306,767千円、たな卸資産の減少157,186千円、仕入債務の減少30,102千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は49,795千円（前年同期は114,684千円の獲得）となりました。これは主に定期預金の預入による支出20,584千円、投資有価証券の売却による収入81,378千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は119,468千円（前年同期は529,603千円の使用）となりました。これは主に短期借入金の減少（純額）23,011千円、長期借入による収入100,000千円、長期借入金の返済による支出169,024千円、長期未払金の返済による支出18,711千円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、42,885千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,600,000
計	21,600,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,492,652	7,492,652	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	7,492,652	7,492,652	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】
 該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】
 該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】
 該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	-	7,492,652	-	1,070,520	-	957,810

(6) 【大株主の状況】
 当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】
 当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 121,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,369,700	73,697	-
単元未満株式	普通株式 1,752	-	-
発行済株式総数	7,492,652	-	-
総株主の議決権	-	73,697	-

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
リバーエレテック株式会社	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号	121,200	-	121,200	1.62
計	-	121,200	-	121,200	1.62

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	960,813	1,289,814
受取手形及び売掛金	1,257,727	927,541
商品及び製品	511,283	458,854
仕掛品	433,131	381,300
原材料及び貯蔵品	774,602	713,990
繰延税金資産	950	23
その他	153,167	86,871
貸倒引当金	5,539	5,307
流動資産合計	4,086,137	3,853,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	463,775	447,702
機械装置及び運搬具(純額)	2,309,470	2,150,694
工具、器具及び備品(純額)	63,325	56,377
土地	415,429	415,429
リース資産(純額)	13,519	12,259
建設仮勘定	12,172	20,875
有形固定資産合計	3,277,693	3,103,339
無形固定資産		
ソフトウェア	4,074	3,777
その他	11,206	10,731
無形固定資産合計	15,281	14,509
投資その他の資産		
投資有価証券	167,615	83,490
破産更生債権等	87,750	84,250
その他	151,512	155,137
貸倒引当金	91,400	87,850
投資その他の資産合計	315,478	235,027
固定資産合計	3,608,453	3,352,876
資産合計	7,694,590	7,205,967

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	487,096	433,244
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
短期借入金	1,086,703	1,060,262
1年内返済予定の長期借入金	639,204	639,606
賞与引当金	42,151	47,180
設備関係支払手形	58,674	48,589
その他	331,455	326,023
流動負債合計	2,685,285	2,594,906
固定負債		
社債	120,000	120,000
長期借入金	1,315,919	1,246,493
退職給付に係る負債	219,180	215,935
繰延税金負債	10,369	3,385
役員退職慰労引当金	109,380	107,900
長期未払金	158,089	139,957
その他	8,327	7,066
固定負債合計	1,941,265	1,840,738
負債合計	4,626,550	4,435,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810
利益剰余金	1,115,431	865,353
自己株式	17,841	17,841
株主資本合計	3,125,920	2,875,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,205	5,277
為替換算調整勘定	76,086	110,797
その他の包括利益累計額合計	57,880	105,520
純資産合計	3,068,039	2,770,322
負債純資産合計	7,694,590	7,205,967

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,499,469	953,404
売上原価	1,131,204	917,498
売上総利益	368,264	35,906
販売費及び一般管理費	339,466	278,245
営業利益又は営業損失()	28,798	242,338
営業外収益		
受取利息	300	164
受取配当金	1,267	1,434
為替差益	73,504	-
補助金収入	-	1,155
その他	1,795	975
営業外収益合計	76,867	3,730
営業外費用		
支払利息	8,808	7,354
社債利息	211	168
為替差損	-	12,916
その他	2,415	2,652
営業外費用合計	11,436	23,093
経常利益又は経常損失()	94,230	261,701
特別利益		
固定資産売却益	-	529
投資有価証券売却益	-	15,599
受取保険金	-	5,389
特別利益合計	-	21,519
特別損失		
固定資産売却損	51	110
固定資産除却損	-	12
特別損失合計	51	122
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	94,178	240,305
法人税、住民税及び事業税	12,824	1,475
法人税等調整額	10,365	925
法人税等合計	2,458	2,401
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	91,719	242,706
四半期純利益又は四半期純損失()	91,719	242,706

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	91,719	242,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,738	12,928
為替換算調整勘定	72,522	34,711
その他の包括利益合計	84,261	47,639
四半期包括利益	175,980	290,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,980	290,346

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	94,178	240,305
減価償却費	161,821	151,019
貸倒引当金の増減額(は減少)	95	98
賞与引当金の増減額(は減少)	75,063	5,029
退職給付引当金の増減額(は減少)	431	-
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,060	1,480
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	3,245
受取利息及び受取配当金	1,568	1,599
支払利息	9,020	7,523
為替差損益(は益)	22	14
有形固定資産売却損益(は益)	51	418
有形固定資産除却損	-	12
投資有価証券売却損益(は益)	-	15,599
受取保険金	-	5,389
売上債権の増減額(は増加)	289,803	306,767
たな卸資産の増減額(は増加)	229,819	157,186
仕入債務の増減額(は減少)	66,524	30,102
未収入金の増減額(は増加)	8,831	238
未払金の増減額(は減少)	12,788	1,949
その他	132,243	65,304
小計	462,688	392,429
利息及び配当金の受取額	1,726	1,773
利息の支払額	8,057	6,749
法人税等の支払額	11,056	-
法人税等の還付額	-	111
保険金の受取額	-	5,389
営業活動によるキャッシュ・フロー	445,300	392,955
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	20,584
定期預金の払戻による収入	123,023	132
有形固定資産の取得による支出	6,103	9,999
有形固定資産の売却による収入	1	763
無形固定資産の取得による支出	226	-
投資有価証券の取得による支出	1,730	1,543
投資有価証券の売却による収入	-	81,378
その他	282	353
投資活動によるキャッシュ・フロー	114,684	49,795
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	220,635	23,011
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	259,483	169,024
長期末払金の返済による支出	37,424	18,711
配当金の支払額	10,628	7,371
リース債務の返済による支出	1,431	1,348
財務活動によるキャッシュ・フロー	529,603	119,468
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,221	11,771
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	60,602	311,510
現金及び現金同等物の期首残高	705,701	448,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	766,304	760,497

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
現金及び預金勘定	1,341,516千円	1,289,814千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	575,211	529,317
現金及び現金同等物	766,304	760,497

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	14,743千円	2円	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	7,371千円	1円	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,478,664	20,804	1,499,469	1,499,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	1,478,664	20,804	1,499,469	1,499,469
セグメント利益	90,494	3,735	94,230	94,230

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	94,230
四半期連結損益計算書の経常利益	94,230

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	941,305	12,098	953,404	953,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	941,305	12,098	953,404	953,404
セグメント利益又は損失()	262,155	453	261,701	261,701

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	261,701
四半期連結損益計算書の経常損失()	261,701

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	12円44銭	32円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	91,719	242,706
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額(千円)	91,719	242,706
普通株式の期中平均株式数(株)	7,371,504	7,371,430

- (注) 1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月 8日

リバーエレクトック株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩淵 道男 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 會田 将之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 天野 清彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリバーエレクトック株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リバーエレクトック株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。